

KENWOOD

デュアルサイズMD/CDレシーバー

DPX-7100MDi DPX-7170MDi DPX-6100MD

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、
説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用す
ることはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION



使いこなし!

ファンクショナルオペレーション

Functional Operation



ここさえ読めばひとまずOK!

イージーオペレーション

EZ Operation

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

Mini
Disc

Help ? Operation
? Word Help

© PRINTED IN JAPAN B64-1719-20 (+)
01/12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 00/12 11 10 9

この製品は、ドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

- 商品、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。
お客様相談室（東京）電話(03)3477-5335 〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-17-9
（大阪）電話(06)6394-8085 〒532-0034 大阪市淀川区野中北2-1-22
受付時間9:20~17:40（土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます）
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、
最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。

Source Selection/Audio Control

Display Control

Clock Control

Function Control

Disc Mode

Tuner Mode

Name Set

DSP/Equalizer Control

EZ Operation

Options

Contents

ここを読まなければ操作できない！
この取扱説明書を読むルールが書いてあります。

本書の読みかた

本書の読みかた	4
安全上のご注意	6
使用上のご注意	8
CDとMDの取り扱い	12

ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション

EZ Operation

EZ Operation	14
--------------	----

使いこなし! ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

Source Selection	16
ソース選択	
Audio Control	16
オーディオコントロール	
Display Control	17
操作パネル角度調節	
ディスプレイ表示切り替え	
ALL OFFモード中表示切り替え	
アナライザーの切り替え	
イリミカラーコントロール	
(DPX-7100MDi/7170MDiのみ)	
イリミカラーユーザー設定	
(DPX-7100MDi/7170MDiのみ)	
Clock Control	21
時刻合わせ	
Function Control	22
ファンクションセット	
セキュリティコード	
電話メモリーダイヤル読み込み	
(DPX-7100MDi/7170MDiのみ)	
電話メモリーダイヤル消去	
(DPX-7100MDi/7170MDiのみ)	
Disc Mode	28
トラックサーチ	
マニュアルサーチ	
ポーズ (DPX-6100MDのみ)	
トラックリピートプレイ	
トラックランダムプレイ	
トラックスキッププレイ	
タイトルスクロール	
Tuner Mode	30
バンド切り替え	
チューニング	
オートメモリー	
マニュアルメモリー	
プリセットチューニング	
Name Set	32
DNPS (ディスクネームプリセット)	
SNPS (ステーションネームプリセット)	
DSP Control	34
DSPシステム	
サウンドフィールドの選択	

Equalizer Control	36
イコライザーカーブの選択	
イコライザーカーブの調節	
ユーザー設定のメモリー	
ユーザー設定の呼び出し	

オプションも使いこなそう! オプションズ

Options

External Disc Control	38
ディスクサーチ	
トラックサーチ	
マニュアルサーチ	
ポーズ (DPX-6100MDのみ)	
トラック/ディスクリピートプレイ	
トラックランダムプレイ	
マガジンランダムプレイ	
トラックスキッププレイ	
ディスクスキッププレイ	
タイトル/テキストスクロール	
Telephone Control	42
(DPX-7100MDi/7170MDiのみ)	
ハンズフリーで電話をかける	
ハンズフリーで電話を受ける	
プライベート通話	
受話音量の調節	
プリセットダイヤルメモリー	

思ったとおりに動作しなかったとき
わからない用語が出てきたら…
困ったときのお助けページ!

Help ? Operation

? Word

Help? Operation	46
Help? Word	54

付録

Appendices

保証とアフターサービス	56
仕様一覧	57

Source Selection/Audio Control

Display Control

Clock Control

Function Control

Disc Mode

Tuner Mode

Name Set

DSP/Equalizer Control

EZ Operation

Options

Help

本書の読みかた

この取扱説明書では、本機の使いかたや別売品を大きく次の3つのブロックに分けて説明しています。

ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション

EZ Operation

使いこなす! ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

オプションも使いこなそう! オプションズ

Options

? Operation

Help

? Word

これらのほかに、本機の仕様などが記載してある [Appendices] があります。

取扱説明書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は操作説明を円滑に行うための表示例です。このため、実際の機器とは異なることや、実際にはありえない表示パターンが記載されていることがあります。なお、DPX-7100MDI/7170MDIとDPX-6100MDの操作方法が同じところでは、DPX-7100MDIの操作パネルにて表示・説明してあります。

本文でのマークについて



共通の操作
ソースにかかわらず共通の操作を表しています。



ディスクの操作
MDまたはCDをプレイする操作を表しています。なお、この取扱説明書では、MDとCDをまとめて「ディスク」と呼んでいます。



チューナーの操作
FM/AM放送を受信する操作を表しています。



注意
ケガなどを防ぐための大切な注意事項を表しています。



メモ
本機の損傷を防ぐための注意事項を表しています。また、機能・使用法の制限や使いかたのアドバイスも表しています。

すぐに使いたかたのために、必要最小限の機能をできるだけ簡単に説明しています。ここだけ読めば、とりあえずお使いいただけます。

EZ Operationを習得したらここへ。すべての機能をステップバイステップで説明しています。ここを読めば、十分に使いこなすことができます。

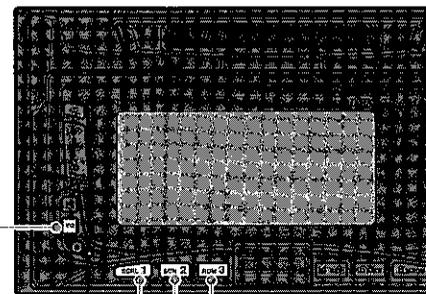
本機に接続できる別売品のすべての機能の使いかたを説明しています。別売品を接続しているときにお読みください。

思ったとおりに動作しなかったときの原因と対策を説明しています。

取扱説明書やディスプレイに表示される用語を解説しています。

DSP Control

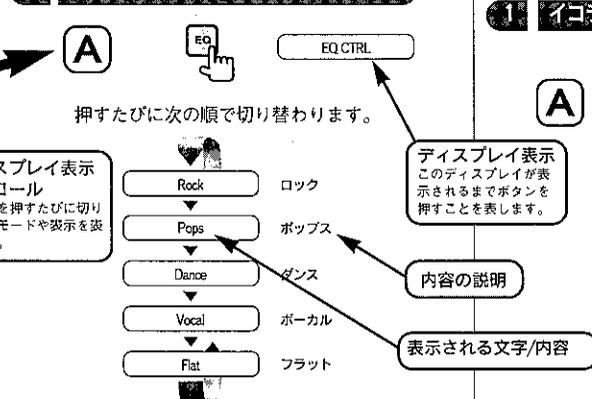
この辺ボタンABC...
操作するボタンがどこにあるのか...、位置を表すためのマークです。



イコライザーモードの選択

イコライザーカーブを呼び出します。

1 イコライザーコントロールモードに入ります



2 イコライザーコントロールモードを終了します

Source Selection/Audio Control

Display Control

Clock Control

Function Control

Disc Mode

Tuner Mode

Name Set

DSP/Equalizer Control

EZ Operation

Options

Help

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

絵表示について：

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



実施

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守り下さい。

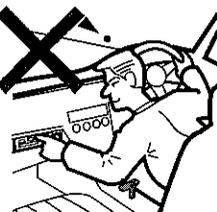
警告



実施

運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

●音量調節などのカーオーディオの操作



実施

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



実施

DPX-7100MDi/7170MDiのハンズフリー通話機能を使用することにより、車の運転にはほとんど影響なく通話が可能となりますが、通話中は車の運転に集中できず前方に不注意となります。通話が長くなるときの場合は、安全な場所に停車してから通話をしてください。

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする



禁止

修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。



禁止

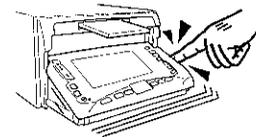
製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。

注意



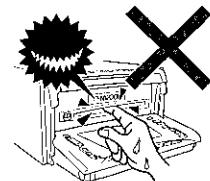
禁止

操作パネル部の開閉中には、手や指を近づけないでください。挟まれてケガをすることがあります。



禁止

ディスク挿入口に手や指を入れないでください。ケガをすることがあります。



禁止

本製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。



禁止

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。

使用上のご注意

本機に接続する ディスクチェンジャーについて

KDC-C410, KDC-C406, KDC-C310, KDC-C306, KDC-C210, KDC-C206, KDC-C110, KDC-C106, KDC-C11, KDC-C10, KMD-C30, およびKMD-C80は直接接続することができます。

別売品のCD/MDチェンジャースイッチングユニットKCA-S210Aを使用するとディスクチェンジャーを2台まで接続することができます。接続などの詳しい説明はKCA-S210Aに付属の取扱説明書をご覧ください。

KDC-C410, KDC-C406, KDC-C310, KDC-C306, KDC-C210, KDC-C206, またはKMD-C30を接続した場合、これらのディスクチェンジャーの“O-Nスイッチ”は“N”側に設定してください。また、CDテキスト表示は上記CDチェンジャーでのみ行えません。

上記以外のケンウッド製ディスクチェンジャー、および他社製のディスクチェンジャーは、本機に接続することはできません。接続すると破損や故障の原因となります。

接続している機種により、使用できる機能や表示できる情報が異なる場合があります。

携帯電話の接続について (DPX-7100MDi/7170MDiのみ)

DPX-7100MDi/7170MDiに携帯電話を接続することによりハンズフリー通話機能が使用できます。携帯電話の接続には別売品のCA-HF100またはCA-HF200が必要です。

DPX-7100MDi/7170MDiに接続できる携帯電話の機種はカタログをご覧ください（接続・使用可能な携帯電話の中にも、機種により一部不適切な表示や動作をする場合があります）。なお、改造などを施した携帯電話では使用できないことがあります。

使用する携帯電話は、以下の設定をオフにしてから接続してください。

- ボタン操作確認音（“ピッ”音）
- 携帯電話本体にメッセージを記憶する留守番電話機能
- ドライブモード等、運転中であることを自動応答で知らせる機能
- 自動着信機能

DPX-7100MDi/7170MDiへの携帯電話接続手順

1. DPX-7100MDi/7170MDiの電源をオンにする。
2. 携帯電話の電源をオフにする。
3. 携帯電話の外部接続端子とCA-HF100/HF200を接続する。

DPX-7100MDi/7170MDiは上記以外の手順で携帯電話を接続しても、接続されていると認識できません。正しく接続されるとDPX-7100MDi/7170MDiのインジケータが点灯または点滅します。

携帯電話を接続すると、携帯電話の電源は自動的にオンになります。DPX-7100MDi/7170MDiの電源がオンのときは、接続している携帯電話をオフすることはできません。また、DPX-7100MDi/7170MDiと接続されている携帯電話とは常に通信状態にあるため、携帯電話の電池の消費が通常より多くなります。なお、CA-HF100/HF200からは携帯電話に電源を供給しません。

携帯電話のメモリーダイヤルをDPX-7100MDi/7170MDiに読み込むときは、携帯電話の電源が途中で切れないようにフル充電をして、DPX-7100MDi/7170MDiの電源も読み込み中に切らないようにしてください。読み込み中に電源が切れるとDPX-7100MDi/7170MDiのダイヤルメモリー内容はすべて消去されます。

携帯電話のメモリーダイヤルをDPX-7100MDi/7170MDiに読み込んでいないと、ハンズフリー機能を使用して電話をかけることはできません。この状態のとき、インジケータが点滅します。

メモリーダイヤルをDPX-7100MDi/7170MDiに読み込むとインジケータは点灯に変わります。（メモリーダイヤルの読み込み方法は26ページを参照してください）なお、読み込んだメモリーダイヤルは、携帯電話をはずしてもDPX-7100MDi/7170MDiに記憶されます。

携帯電話のメモリーダイヤルを読み込み中はDPX-7100MDi/7170MDiの操作をしないでください。携帯電話も着信以外の操作はしないでください。また、読み込み中に着信したときは通話が終了後に読み込み動作が自動的に再開されます。この場合、指定した番号からすべて読み込み直します。

DPX-7100MDi/7170MDiのハンズフリー通話機能では、割り込み通話や三者通話を利用できません。このような通話をするときは、安全な場所に停車した後、携帯電話をCA-HF100/HF200から取り外してから、携帯電話で操作してください。

携帯電話のインターネット機能やメール機能を使用するときは、携帯電話をCA-HF100/HF200から取り外してから使用してください。CA-HF100/HF200に携帯電話を接続したままでは、これらの機能が正常に動作しない場合があります。

接続している携帯電話によっては、DPX-7100MDi/7170MDiから電話をかけた場合に、携帯電話の発信履歴に電話番号が記憶されない場合があります。

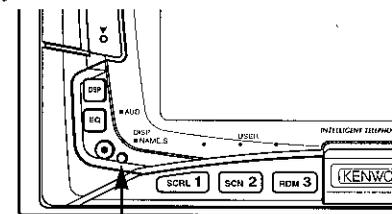
ハンズフリー通話機能について

携帯電話より読み込んだ電話番号は、リセットボタンを押したり、DPX-7100MDi/7170MDiをバッテリーから外すと消去されます。このようなときは携帯電話より電話番号を再度読み込んでください。

携帯電話の電波受信レベルが低いときや、車の走行ノイズが大きいときは、通話している双方ともに相手の音声聞き取りづらくなる場合があります。

セットの異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まずHelp Operation(46ページ)を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、本機のリセットボタンをペン先などで押してください。



リセットボタン

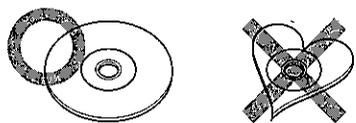
リセットボタンを押しても正常に戻らないときや、下記のような場合などは、本機の電源をオフにして、購入店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。

- MDやCDが取り出せない。
- MDやCDを正しく入れ直してもボタンやインジケータの点滅が続く。
- ディスクチェンジャーを接続しているのにディスクチェンジャーモードにならずに“Aux Mode”と表示される。
- KCA-S210Aが接続されていないときに“Aux Mode”と表示される。

使用上のご注意

使用できないCD

特殊な形状のCDは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のCDを使用すると故障の原因になります。



記録面（レーベル面の反対側）が着色してあるものや汚れているCDは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。



マークの付いていないCDは使用しないでください。

ファイナライズ処理を行っていないCD-RおよびCD-RWは再生できません。（ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください）

このほかにもCD-RやCD-RWで記録されたCDは、記録状態により再生できない場合があります。

レーベル面にシールの貼ってあるCDを使用すると、CDが変形したり、シールがはがれることがあります。本機の故障の原因となることもあるため、レーベル面にシールの貼ってあるCDは使用しないでください。

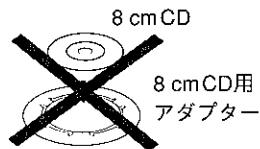
CD用アクセサリについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は故障の原因となりますので使用しないでください。



8cmCDはアダプターは使用せず、そのまま挿入してください。8cmCDアダプターを使用するとディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

また、接続するCDチェンジャーで8cmCDを使用する場合は別売品の8cmCD用マガジンをご使用ください。



データ用のMDについて

データ用のMDは使用できません。音楽用のMDを使用してください。

ラベルのはがれかかったMDは

ラベルのはがれかかったMDは使用しないでください。ラベルが浮いていたり、はがれかかっているMDを使用すると、本機の中ではがれて取り出せなくなるなど故障の原因となります。

レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

セットのお手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でからぶきしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものでふくと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

温度について

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。

本機内部が60℃を越える高温になると、保護回路が働いてMDやCDの演奏ができなくなります。

このようなときは、車内の温度を下げてください。保護回路機能が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときはリセットボタンを押してください。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではMDやCDの読み取りができなくなります。

このようなときは、MDやCDを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。

もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店またはケンウッドサービスセンターへ連絡してください。

CDとMDの取り扱い

CDの取り扱いについて

CDの汚れや、ゴミ、キズ、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。取り扱いは記録面に触れないようにします。(レーベルが印刷されていない面が記録面です。)



CD-RやCD-RWは通常の音楽CDより反射膜が弱い
ため、傷が付くことなどにより、はがれることが
あります。また、指紋による音飛びにも弱いメ
ディアです。取り扱いには十分注意をしてください。
詳細な注意事項がCD-RおよびCD-RWのパッケージ
などにも書かれています。それらの注意事項も読
んでから使用してください。

記録面や、レーベルが印刷されている面に紙テ
ープなどを貼らないでください。

CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなど
のノリがはみ出したり、はがした痕があるものは
お使いにならないでください。そのままCDプレー
ヤーにかけるとCDが取り出せなくなったり、故障
することがあります。



CDの保存

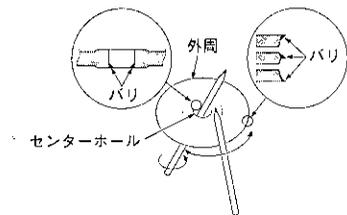
直射日光があたる場所(シートやダッシュボードの
上)など、温度が高い場所には置かないでください。
特にCD-R、CD-RWは通常の音楽CDに比べ、高温、
多湿の環境に弱く、ディスクによっては車内に長時
間放置すると使用できなくなる場合があります。

長期間演奏しないときは、本機からCDを取り出
して、ケースに入れて保管してください。

キズ、汚れ、反りの原因になりますので、ケー
スに入れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保
存しないでください。

新しいCDを使うときは

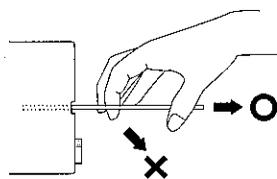
新しいCDを使うときは、CDのセンターホールや
外周部に“バリ”がないことを確認してください。
“バリ”がついたまま使用すると、CDが挿入でき
なかったり音飛びの原因になります。“バリ”があ
るときは、ボールペンなどで取り除いてから使用
してください。



CDの取り出しかた

本機からCDを取り出すときは水平方向に引き出
してください。

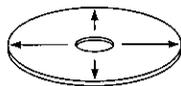
下側に強く押しながら引き出すとCDの記録面に傷
を付ける原因となります。



CDのお手入れ

CDが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや
柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向っ
て軽くふき取ってください。

従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シン
ナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないで
ください。



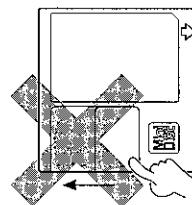
MDのお手入れ

カートリッジ表面の汚れや、ゴミは乾いた布でふき
取ってから使用してください。特に油汚れが付いた
状態で使用すると、ディスクがローディングされ
なかったり、取り出せなくなることがあります。
また、お手入れされるときは、シャッターを開か
ないようにご注意ください。

MDのシャッターについて

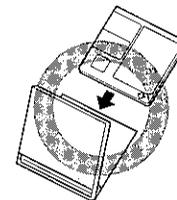
MDのシャッターは開けられないようになっていま
す。無理に開けるとカートリッジが破損して使用
できなくなります。

シャッターが何らかの原因で開いてしまったとき
には、記録部分を指で触らないようにしてくださ
い。記録部分に触れると使用できなくなったり、
音飛びを頻繁に起こすようになります。



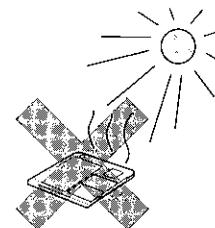
保管について

MDを長時間本機に入れたままにしないでくださ
い。また、取り出したMDは、MD専用ケースに入
れて保管してください。



高温に注意

MDを直射日光の当たる場所(ダッシュボードの上
など)など温度が高くなるような場所に放置しな
いください。MDのカートリッジが変形して使用
できなくなります。





MDの操作



CDの操作



チューナーの操作



共通の操作

ディスクのプレイは簡単！ ディスクを差し込むだけです。

電源をオン/オフします。
 押すと電源がオンになります。
 1秒以上押しすと、電源がオフになります。

MD/CDのプレイとFM/AM放送を切り替えます。
 ディスクが入っているときに押しすと、FM/AM放送、MD、CD、ALL OFFとが切り替わります。

MDをプレイするときは…
 プレイするディスクを差し込みます。

MDを取り出すときは…
 を押しします。
 MDがイジェクトされます。

CDをプレイするときは…
 を押し続けて、CD挿入口が見えるまで操作パネルをスライドさせます。
 プレイするCDを差し込みます。
 CDが引き込まれてから操作パネルの下部を押して操作パネルを閉めます。

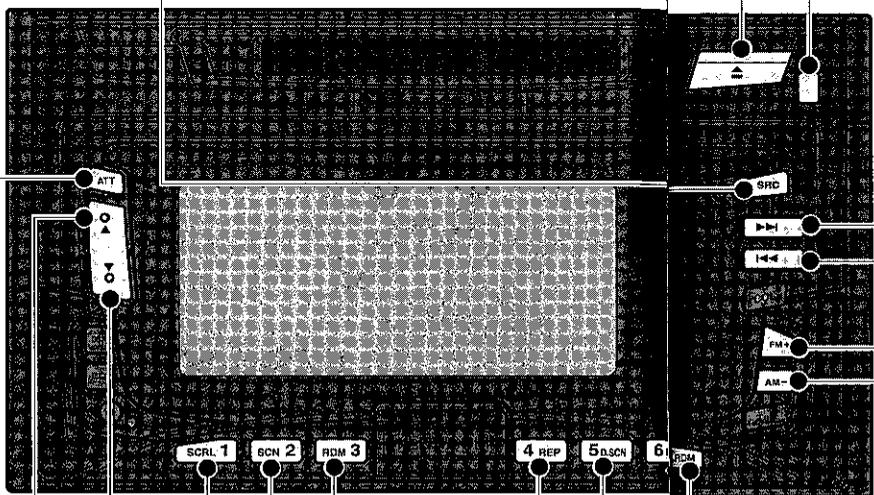
CDを取り出すときは…
 を押し続けて、操作パネルを下までスライドさせ、CDイジェクトボタン()を押します。
 操作パネルの下部を押して操作パネルを閉めます。

CDイジェクトボタン

- スライドさせたパネルに無理な力を加えないでください。
- 操作パネルを開いたまま使用すると本機内部にホコリなどが入り、故障などの原因となります。操作パネルは閉めて使用してください。

音量を素早く下げます。
 もう一度押しとか、 (ボリュームアップボタン) を押しすと元の音量に戻ります。

1秒以上押しすと、交通情報を受信します。
 もう一度、1秒以上押しすと元に戻ります。



プレイする曲を選びます。

受信する放送局を選びます。
 AUTOインジケーターが点灯時は受信状態の良い放送局を自動的に選択できます。
 AUTOインジケーターが消えているときは周波数が1ステップ変わります。
 (ファンクションセットp.22ページ)

交通情報の周波数を選びます。

音量を上げます。

音量を下げます。

メモリーされている放送局を受信します。
 2秒以上押しすと、受信中の放送局をボタンにメモリーします。

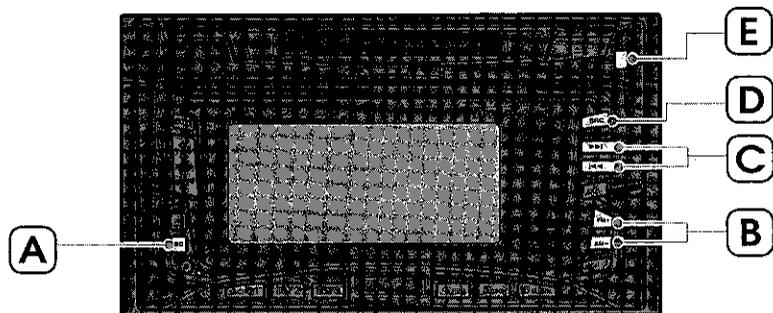
FM放送のバンド (FM1/FM2) を切り替えます。

AM放送のバンド (AM1/AM2) を切り替えます。

注意

- 安全のため、周囲の音が聞こえる音量でお聴きください。
- 操作パネルを開いたときにシフトレバーなどに干渉する場合は、安全に注意してシフトレバーを動かしてください。

- Source Selection/Audio Control
- Display Control
- Clock Control
- Function Control
- Disc Mode
- Tuner Mode
- Name Set
- DSP/Equalizer Control



プレイするソースを選びます。
また、音量バランスなどを調節します。
操作パネルの角度を調節します。

ソース選択

プレイするソースを切り替えます。



押すたびに次の順で切り替わります。

- TUNER FM/AM放送を受信
- MD MDをプレイ
- CD CDをプレイ
- ALL OFF 電源をオンのままで機能を停止

別売品のユニットが接続されているときには、次の順で切り替わります。

- TUNER FM/AM放送を受信
- MD MDをプレイ
- CD CDをプレイ
- MD-CH 1~2 MDチェンジャー内のMDをプレイ (MDチェンジャー接続時)
- CD-CH 1~2 CDチェンジャー内のCDをプレイ (CDチェンジャー接続時)
- ALL OFF 電源をオンのままで機能を停止

オーディオコントロール

音量バランスなどを設定します。

1 オーディオコントロールをオンにします



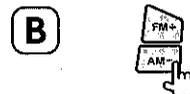
“AUDIO CTRL” と表示されるまで押し続けます。

オーディオコントロールはALL OFFモード以外のモード中に設定できます。

2 設定する項目を選択します



3 値を選択します



設定できる項目と値は次のとおりです。

設定項目	設定値
Balance (左右の音量レベル)	L15~00~R15
Fader (前後の音量レベル)	F15~00~R15
N-F (ノンフェーダーリアウト出力レベル)	---~00~+10
Amp Cont (外部アンプコントロール)	OFF/1/2

(太字は初期設定値)

“N-F” 設定はファンクションセット (22ページ) の“Preout”項目が“N-F”に設定されているときに選択できます。

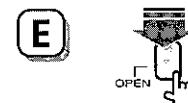
4 オーディオコントロールを終了します



操作パネル角度調節

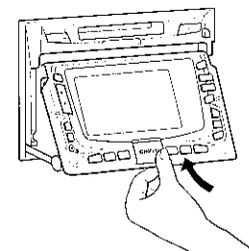
操作パネルを見やすい角度に調節します。

1 操作パネルをスライドします



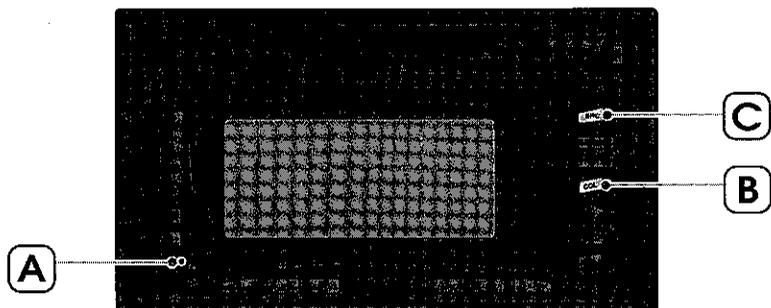
操作パネルが下までスライドするまで押し続けます。

2 好みの角度に調節します



操作パネルの下部を押すたびに、1ステップずつ4段階にスライドします。

操作パネルが閉じているときに [E] を短く押しても角度調節をすることができます。



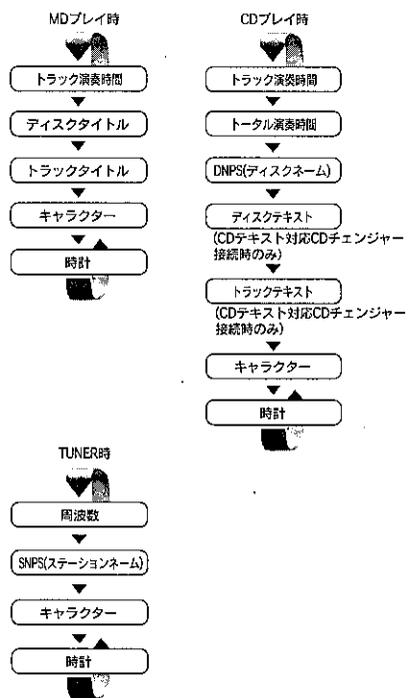
ディスプレイの表示の設定をします。

ディスプレイ表示切り替え

ディスプレイに表示される情報を切り替えます。



押すたびに次の順で切り替わります。



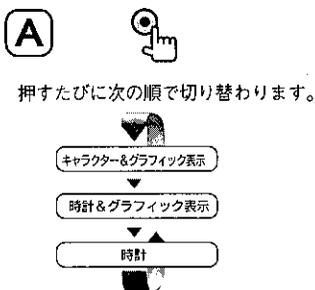
ALL OFFモード中表示切り替え

ALL OFFモード中のディスプレイ表示を選びます。

1 ALL OFFモードにします



2 表示を選びます



押すたびに次の順で切り替わります。

アナライザーの切り替え

(DPX-7100MDi/7170MDi)
スペクトラムアナライザー表示を切り替えます。

1 スペアナコントロールモードにします



“SPEANA CTRL”と表示されるまで押し続けます。

アナライザーの切り替えはALL OFFモード以外のモード中に設定できます。

2 アナライザーを選択します



押すたびに次の順で切り替わります。

3 スペアナコントロールモードを終了します



または、約10秒間以上、なにも操作しないでおきます。

アナライザーの切り替え

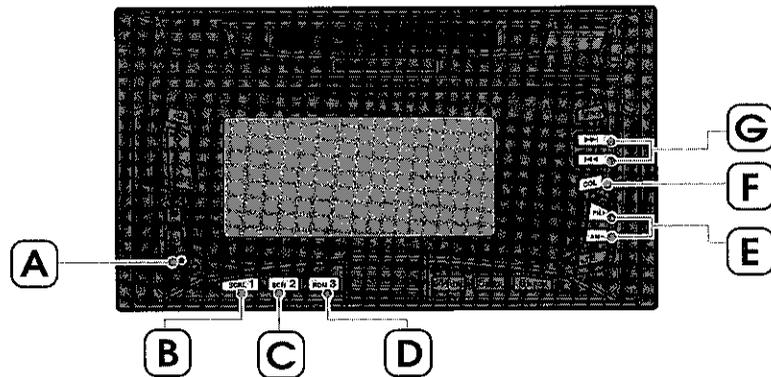
(DPX-6100MD)
スペクトラムアナライザー表示を切り替えます。



押すたびに次の順で切り替わります。



アナライザーの切り替えはALL OFFモード以外のモード中に設定できます。



イルミカラーコントロール

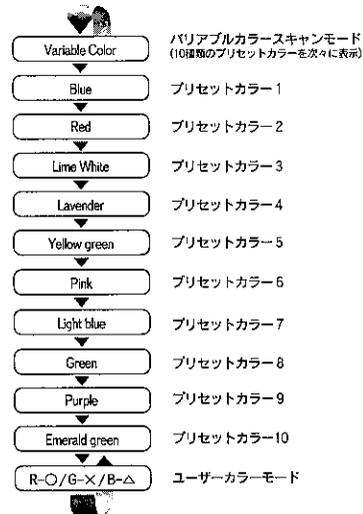
(DPX-7100MDi/7170MDiのみの機能)

ディスプレイ表示のカラーを好みの色に調節します。

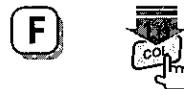
1 カラーコントロールモードにします



押すたびに次の順で切り替わります。



2 カラーコントロールモードを終了します



または、約10秒間以上、なにも操作しないでおきます。

イルミカラーユーザー設定

(DPX-7100MDi/7170MDiのみの機能)

ディスプレイのカラーを調節します。

1 ユーザーカラーモードを選択します



プリセットカラー (1~10) モード中に [scr1.1] ~ [scr1.3] キーを押してもユーザーカラーモードになります。

ディスプレイ表示のカラーを好みの色にすることができます。
(DPX-7100MDi/7170MDiのみの機能)
また、時計表示の時刻合わせをします。

2 カラーを作ります

Redの濃淡を調節するときは・・・



押すたびに、R-1, R-2, R-3, R-4, R-0とが切り替わります。

Greenの濃淡を調節するときは・・・



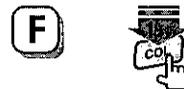
押すたびに、G-1, G-2, G-3, G-4, G-0とが切り替わります。

Blueの濃淡を調節するときは・・・



押すたびに、B-1, B-2, B-3, B-4, B-0とが切り替わります。

3 カラーコントロールモードを終了します



または、約10秒間以上、なにも操作しないでおきます。

時刻合わせ

時計表示の時刻を合わせます。

1 時計表示にします



2 時刻合わせを開始します



表示が点滅するまで押し続けます。

3 "時" を合わせます



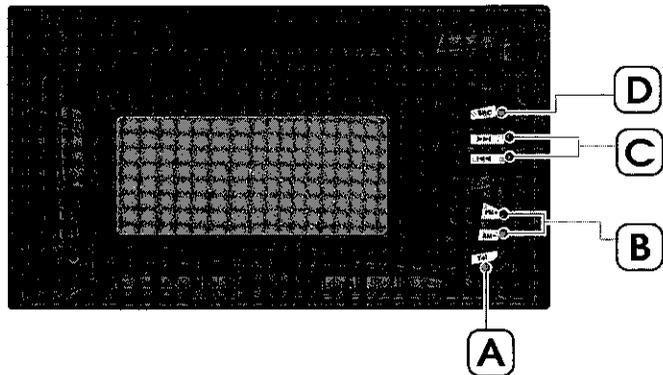
4 "分" を合わせます



5 時刻合わせを終了します



分を調節したときは、00秒からカウントがスタートします。



本機の各種の機能を設定します。

ファンクションセット

操作時のピープ音などの各種の機能を設定します。

1 設定項目があるモードにします



2 ファンクションセットモードにします

DPX-7100MDi/7170MDi

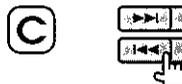


DPX-6100MD



"Function Set"と表示されるまで押し続けます。

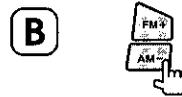
3 設定項目を選択します



右表の順番で設定項目が切り替わります。

- 設定項目の詳しい機能説明はHelp Word(P.54)を参照してください。
- 右表の"条件"の内容が満たされていないと、その項目の表示・設定は行えません。

4 設定値を選択します



設定できる項目と値は次のとおりです。

全モード中に設定可能
(DPX-7100MDi/7170MDiのみの機能)

設定項目	設定値	条件
TEL Posi (受話音スピーカー設定)	L / R	携帯電話をDPX-7100MDi/7170MDiに接続中
TEL Rcv (自動応答時間設定)	OFF/5s/7s/10s	携帯電話をDPX-7100MDi/7170MDiに接続中
TEL Memo (携帯電話メモリーの読み込み)	登録の方法は26ページをご覧ください。	携帯電話をDPX-7100MDi/7170MDiに接続中
TEL Erase (登録メモリーダイヤルの消去)	消去の方法は27ページをご覧ください。	携帯電話をDPX-7100MDi/7170MDiに接続中

(太字は初期設定値)

- "TEL Posi" 項目の設定は、ハンズフリーシステムのハウリングを防ぐため、運転席とは逆のスピーカー(右ハンドル車の場合は左スピーカー)に設定してください。

MD/CD-CH/MD-CHモード中のみ設定可能

設定項目	設定値	条件
AT.SCRL (ディスクタイトル/CDテキストオートスクロール)	ON / OFF	チェンジャーのO-Nスイッチが"N"に設定時

(太字は初期設定値)

- MDプレイ時とCDプレイ時のそれぞれで設定が可能です。

TUNERモード中のみ設定可能

設定項目	設定値	条件
Seek (チューニングモード)	Auto / Manual	—
MONO (FM放送モノラルチューニング)	ON / OFF	FM放送受信時
AME Ready (オートメモリー)	登録の方法は30ページをご覧ください。	—

(太字は初期設定値)

ALOFFモード中のみ設定可能
(DPX-7100MDi/7170MDi)

設定項目	設定値	条件
V-Color (バリアブルカラー)	Sync / Fix	—
Contrast (ディスプレイの文字の明るさを設定)	1 ~ 6 ~ 11	—
BEEP (ピープ音)	ON / OFF	—
Preout (プリアウト出力選択)	REAR / N-F	—
Opening (電源オン時のデモンストレーション表示)	ON / OFF	—
CODE STBY (セキュリティコードの登録モード)	登録の方法は24ページをご覧ください。	セキュリティコードが未設定時
NAVI ATT (ナビ音声ガイド時にミュート設定)	ON / OFF	—

(太字は初期設定値)

ALOFFモード中のみ設定可能 (DPX-6100MD)

設定項目	設定値	条件
DISP MODE (レッドスベアナ)	A / B	—
BEEP (ピープ音)	ON / OFF	—
Preout (プリアウト出力選択)	REAR / N-F	—
BRIGHT (ライトスイッチがオン時のスベアナの明るさを設定)	1 ~ 13	車両のライトスイッチをON後にファンクションセットモードにする
Opening (電源オン時のオープニング表示)	ON / OFF	—
CODE STBY (セキュリティコードの登録モード)	登録の方法は24ページをご覧ください。	セキュリティコードが未設定時
NAVI ATT (ナビ音声ガイド時にミュート設定)	ON / OFF	—

(太字は初期設定値)

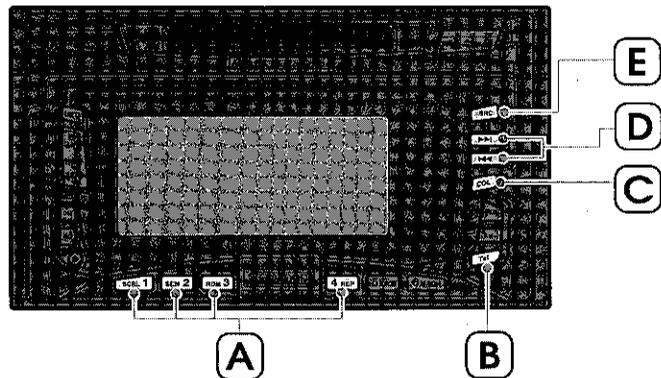
5 ファンクションセットモードを終了します

DPX-7100MDi/7170MDi



DPX-6100MD





セキュリティコード

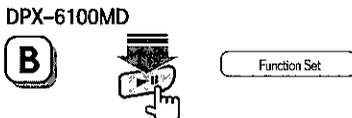
暗証番号を登録することにより盗難を抑制します。

- 設定したセキュリティコードは変更・削除はできません。また、機能の解除もできません。コードは忘れないようにメモを取るなどしてください。

1 ALL OFFモードにします

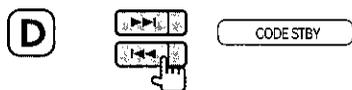


2 ファンクションセットモードにします

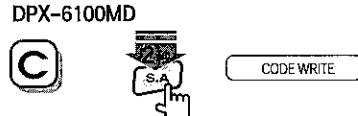
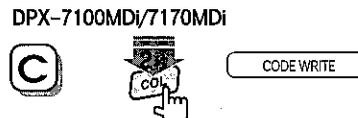


“Function Set”と表示されるまで押し続けます。

3 セキュリティコード項目を選択します

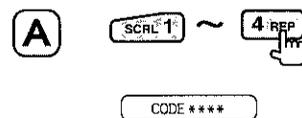


4 セキュリティコード入力を開始します



“CODE WRITE”と表示されるまで押し続けます。

5 セキュリティコードを入力します



例：3510の場合

ボタン	SCRL 1	SCN 2	RDW 3	4 REP
押す回数	4	6	2	1
表示	3	5	1	0

セキュリティコードを設定すると、電源コードを外したときなどの次に使うときは、設定したセキュリティコードを入力しないと電源がオンできないようになり、盗難防止の手助けとなります。

6 セキュリティコードを登録します



7 セキュリティコードを再入力します



確認のためセキュリティコードを手順5の方法で再度入力します。手順5と違うコードを入力すると、手順5の1回目のセキュリティコードの入力に戻ります。

8 セキュリティコードを再登録します



セキュリティコードの登録が完了後に、リセットボタンを押したり、本機をバッテリーの接続から外すと、登録したセキュリティコードの入力が必要になります。詳しくは右項をご覧ください。

リセットボタンを押したり、本機をバッテリーから外してから最初に使うときは・・・

1 セキュリティコードを入力します

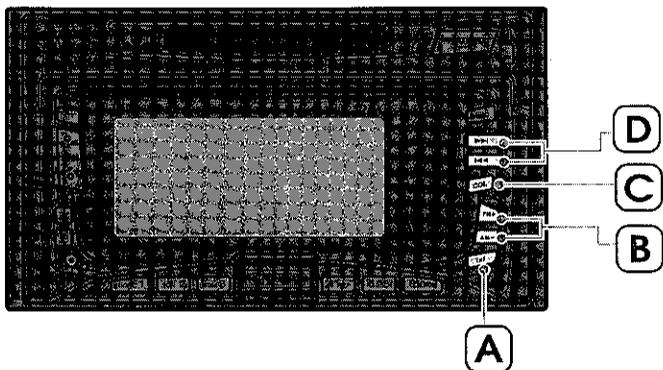


2 セキュリティコードを確認します



本機が使用可能となります。

- セキュリティコードを登録したときと違うコードで入力すると電源が自動的にオフになります。このようなときは、再び電源をオンにしてから再度セキュリティコードを入力してください。



携帯電話からメモリーダイヤルを読み込みます。
 (DPX-710MDi/7170MDiのみの機能)
 携帯電話の接続のしかたは、8ページの“携帯電話の接続について”をご覧ください。

電話メモリーダイヤル読み込み

(DPX-710MDi/7170MDiのみの機能)
 携帯電話にメモリーされている電話番号を最大50件まで読み込みます。

1 本機に携帯電話を接続します

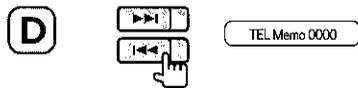
接続の方法については8ページの“携帯電話の接続について”をご覧ください。

2 ファンクションセットモードにします



“Function Set”と表示されるまで押し続けます。

3 電話番号読み込み項目を選択します



4 読み込み始めるメモリー番号を指定します



押すたびに、メモリーダイヤル読み込みを開始する携帯電話のメモリー番号が切り替わります。指定できるメモリー番号は、0000、0050、0100・・・と50件単位で切り替わります。

5 電話番号読み込みを開始します



2秒以上押すと読み込みが始まります。また、メモリーダイヤル読み込みが終了するとインジケータが点滅から点灯に変わり、ピープ音が鳴ります。

- 携帯電話から50件のメモリーダイヤルを読み込むためには、2分から4分程度の時間がかかります。
- 50件分のメモリーダイヤルのうち、電話番号や名前が登録されていないメモリーダイヤルがあった場合は、登録されていない空のメモリーダイヤルとしてそのまま読み込まれます。また、シークレット機能がかったメモリーダイヤルは読み飛ばされます。

電話メモリーダイヤル消去

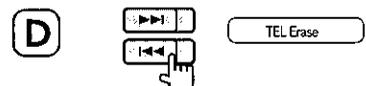
(DPX-710MDi/7170MDiのみの機能)
 携帯電話から読み込んだ電話番号やプリセットダイヤル、ダイヤル履歴、着信履歴などDPX-710MDi/7170MDiにメモリーしてある電話番号をすべて消去します。

1 ファンクションセットモードにします



“Function Set”と表示されるまで押し続けます。

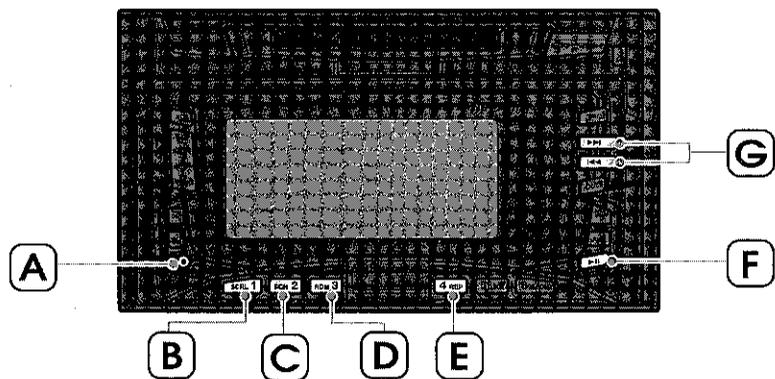
2 電話番号の消去項目を選択します



3 電話番号の消去を実行します



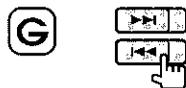
2秒以上押すと、DPX-710MDi/7170MDiにメモリーされている電話番号が消去されます。



MDやCDをいろいろにプレイします。
基本的なMDとCDのプレイ方法はEZ Operation (14ページ) で習得できます。

トラックサーチ

順に曲を選びます。



押すたびに、次の曲、または現在プレイ中の曲の先頭/前の曲へトラックサーチします。

マニュアルサーチ

現在プレイ中の曲を早送り/早戻しします。



ボタンを押している間だけ、早送り/早戻しされます。

ポーズ (DPX-6100MDのみの機能)

現在プレイ中の曲を一時停止します。



もう一度押すとプレイを再開します。

トラックリピートプレイ

現在聴いている曲を繰り返しプレイします。



押すたびに、トラックリピートプレイがオン/オフされます。

トラックランダムプレイ

現在のディスク内の曲をランダムな順でプレイします。



押すたびに、トラックランダムプレイがオン/オフされます。

● を押すと、次の曲の選択を開始します。

トラックスキャンプレイ

ディスク内の各曲の先頭部分を10秒間ずつプレイして曲を探ることができます。

1 トラックスキャンプレイを開始します



2 聴きたい曲のところで...



その曲からプレイされます。

を押してもプレイされます。(DPX-6100MDのみ)

● すべてのトラックがスキャンされると、トラックスキャンは、自動的に終了します。

タイトルスクロール

MDをプレイするときにディスク/トラックタイトルをスクロール表示します。

1 ディスク/トラックタイトル表示にします

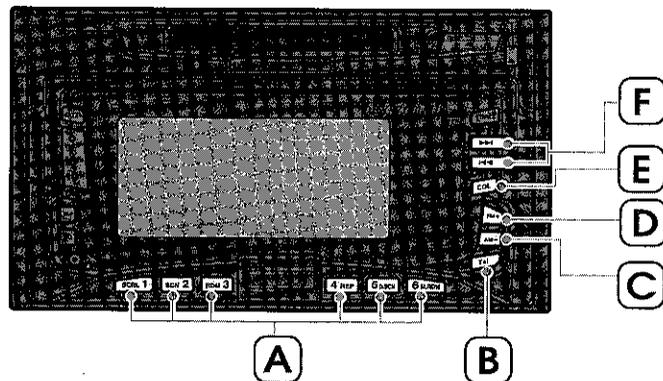


2 スクロール表示します



ディスク/トラックタイトル表示が1回スクロールします。

● ファンクションセットのAT.SCRL項目が"OFF"に設定されているときでも、この方法でスクロール表示することができます。



FM/AM放送を受信できます。
また、各バンドごとに6局までの放送局をメモリーしておくこともできます。
基本的なFM/AM放送の聴き方はEZ Operation (14ページ) で習得できます。

バンド切り替え

FM1とFM2を切り替えます。



AM1とAM2を切り替えます。



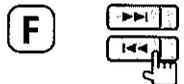
チューニング

受信する放送局を選びます。

1 バンドを選びます



2 放送局を選びます



チューニングモードがAutoのとき
(AUTOインジケータが点灯しています)
受信状態の良い放送局を自動的に選びます。

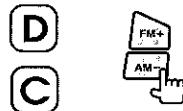
チューニングモードがManualのとき
押すたびに、周波数が1ステップずつ変わります。

● チューニングモードはファンクションセット (22ページ) で変更ができます。

オートメモリー

受信状態の良い放送局を自動的に選んでメモリーします。

1 バンドを選びます

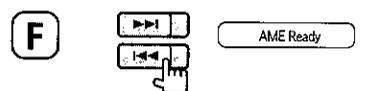


2 ファンクションセットモードにします



“Function Set”と表示されるまで押し続けます。

3 オートメモリー項目を選択します

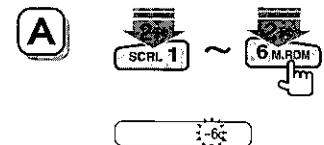


4 オートメモリーを開始します



周波数表示になるまで押し続けます。
6局メモリーするか、周波数を一周すると自動的にオートメモリーは終了します。

3 メモリーするボタン(1~6のいずれか)を選びます



ボタンナンバー表示が1回点滅するまで押し続けます。

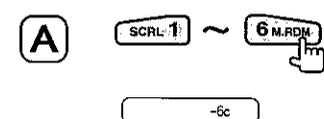
プリセットチューニング

メモリーボタン (1~6) にメモリーされている放送局を受信します。

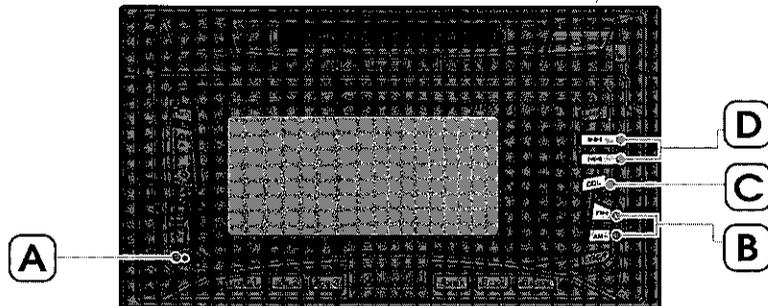
1 バンドを選びます



2 メモリーボタン (1~6のいずれか) を選びます



メモリーボタンにメモリーされている周波数が呼び出されます。



FM/AM放送局やCDに名前を付けて表示させることができます。

DNPS (ディスクネームプリセット) / SNPS (ステーションネームプリセット)

CDやFM/AM放送局に名前を付けます。FM/AM放送局には30局までステーションネームをセットできます。交通情報モードで受信している放送局にも同様の操作でネームセットできます。また、本機CDプレーヤーには10枚までディスクネームをセットできます。

1 名前を付けるディスク/放送局を選びます

● 時計表示中はDNPS/SNPSは行えません。ディスプレイ表示切り替えで時計以外の表示を選択してください。

2 DNPS/SNPSを開始します



“Name Set”と表示されるまで押し続けます。

3 文字を入力する位置にカーソルを移動します



4 文字の種類を選びます

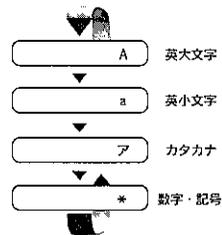
DPX-7100MD/7170MDi



DPX-6100MD



押すたびに次の順で切り替わります。



5 文字を選びます

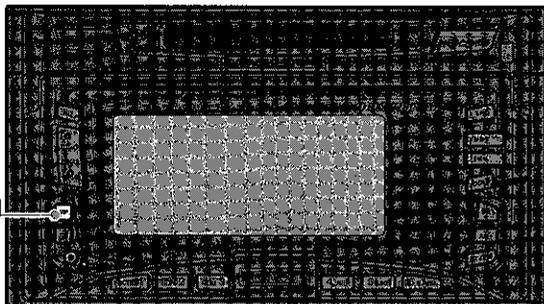


6 3~5を繰り返して、すべての文字を入力します

7 DNPS/SNPSを終了します



- 接続するCDチェンジャーによってはDNPSができません。
- 10秒間以上、なにも操作しないとその時点で名前が確定されます。
- 名前は8文字まで登録できます。
- CDはトラック数(曲数)と総録音時間で識別されます。このため、これらが同じCDの場合には識別できません。
- バッテリーから外すとDNPS/SNPSは消去されます。
- ディスクネームをセットできるディスクの枚数は、接続しているCDチェンジャーにより異なります。くわしくはCDチェンジャーに付属の取扱説明書をご覧ください。
- MDにはDNPSできません。
- 本機とディスクチェンジャーはそれぞれのメモリーで名前を記憶しています。このため本機内部のCDプレーヤーで名前を付けたディスクをディスクチェンジャーでプレイしてもDNPSは表示されません。



A

DSP (デジタルシグナルプロセッサ) の設定ができます。

DSPシステム

DSP機能を使います。

DSPシステムをオンにします



DSP効果のかかった音が出力されます。
 DSPシステムがオンのときにはDSPインジケータ
 ーが点灯します。
 DSPシステムの設定はDSPシステムがオンの状態
 でのみ行えます。

● DSPシステムはALL OFFモード以外のモード中に設
 定できます。
 なお、交通情報受信中はDSPシステムのオンや設定
 はできません。

DSPシステムをオフにします



“DSP Off” と表示されるまで押し続けるか、また
 はDSPインジケータが消えるまで押し続けま
 す。
 DSP効果が解除されます。

サウンドフィールドの選択

疑似音場効果を呼び出します。

1 DSPコントロールモードにします

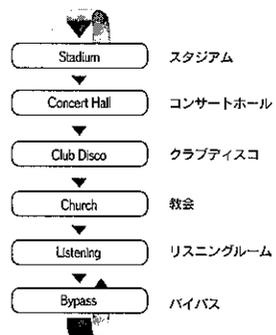


DSPシステムがオフのときには2回押します。

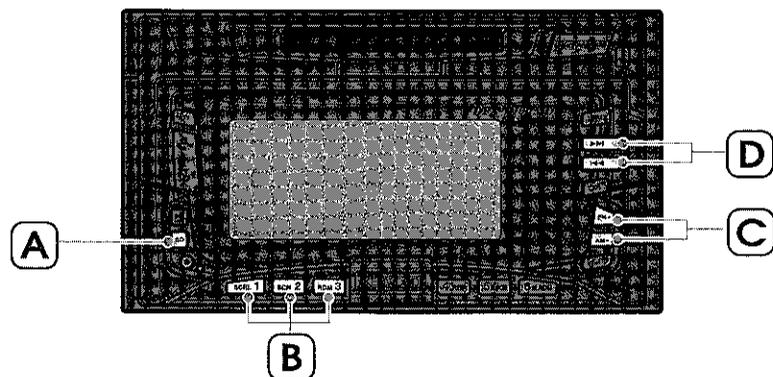
2 サウンドフィールドを選びます



押すたびに次の順で切り替わります。



10秒間以上、なにも操作しないでおくと各
 ソースモードに戻ります。

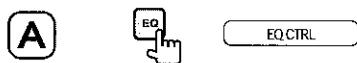


イコライザーカーブの設定や調節をします。

イコライザーカーブの選択

イコライザーカーブを呼び出します。

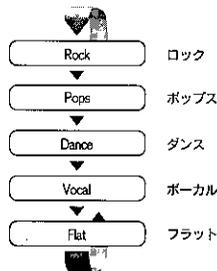
1 イコライザーコントロールモードにします



2 イコライザーカーブを選択します



押すたびに次の順で切り替わります。



3 イコライザーコントロールモードを終了します



1秒以上押し続けるとイコライザーコントロールモードが終了します。または、約10秒間以上、なにも操作しないでおきます。

イコライザーカーブの調節

車や音楽に合わせて独自のイコライザーカーブに調節できます。

1 イコライザーコントロールモードにします

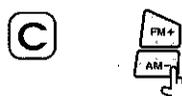


2 調節する周波数を選びます



60Hz~16kHz (7ステップ) から選択します。

3 レベルを調節します



-12dB~+12dB (13ステップ) から選択します。

4 イコライザーコントロールモードを終了します



1秒以上押し続けるとイコライザーコントロールモードが終了します。または、約10秒間以上、なにも操作しないでおきます。

ユーザー設定のメモリー

ユーザー独自のイコライザー設定を3種類までメモリーしておくことができます。

1 イコライザーカーブを設定します

36ページを参照してイコライザーカーブの調節をします。

2 メモリーボタン(1~3のいずれか)を選びます



EQ Memory 1

“EQ Memory〇”表示が1回点滅するまで押し続けます。

3 イコライザーコントロールモードを終了します



1秒以上押し続けるとイコライザーコントロールモードが終了します。または、約10秒間以上、なにも操作しないでおきます。

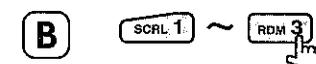
ユーザー設定の呼び出し

メモリーされているイコライザーカーブはワンタッチで呼び出せます。メモリーボタン(1~3のいずれか)を選びます。

1 イコライザーコントロールモードにします



2 メモリーボタン(1~3のいずれか)を選びます



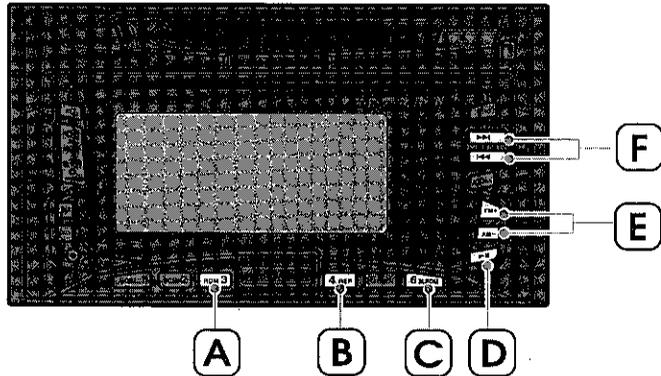
EQ Memory 1

メモリーされているイコライザーカーブが呼び出されます。

3 イコライザーコントロールモードを終了します



1秒以上押し続けるとイコライザーコントロールモードが終了します。または、約10秒間以上、なにも操作しないでおきます。



別売品のディスクチェンジャーなどを接続しているときは、本機からコントロールできます。

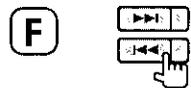
ディスクサーチ (チェンジャーのみ)

プレイするディスクを選択します。



トラックサーチ

順に曲を選びます。



押すたびに、次の曲、または現在プレイ中の曲の先頭/前の曲へトラックサーチします。

マニュアルサーチ

現在プレイ中の曲を早送り/早戻しします。



ボタンを押している間だけ、早送り/早戻しされます。

ポーズ (DPX-6100MDのみ)

現在プレイ中の曲を一時停止します。



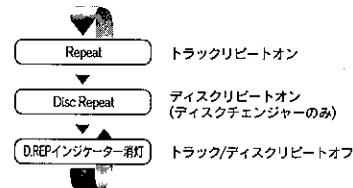
もう一度押すとプレイを再開します。

トラック/ディスクリピートプレイ

現在聴いている曲またはディスクを繰り返しプレイします。

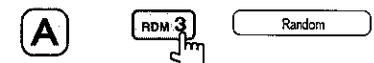


押すたびに、次のようにオン/オフします。



トラックランダムプレイ

現在のディスク内の曲をランダムな順でプレイします。



押すたびに、トラックランダムプレイがオン/オフされます。

! を押すと、次の曲の選択を開始します。

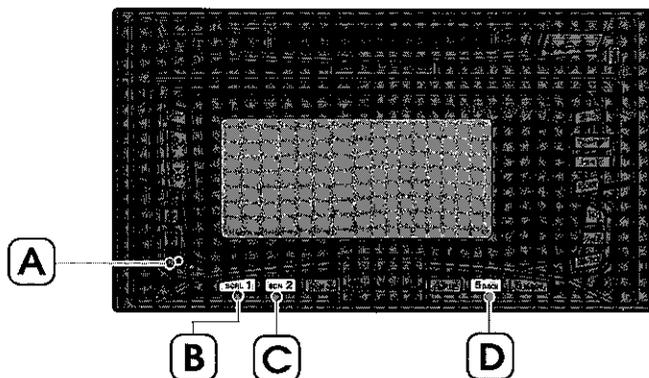
マガジンランダムプレイ (チェンジャーのみ)

マガジン内のディスクをランダムな順でプレイします。



押すたびに、マガジンランダムプレイがオン/オフされます。

! を押すと、次の曲の選択を開始します。



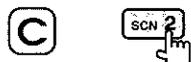
トラックスキャンプレイ

ディスク内の各曲の先頭部分を10秒間ずつプレイして曲を探ることができます。

1 トラックスキャンプレイを開始します



2 聴きたい曲のところで...



その曲からプレイします。

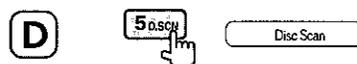
を押してもプレイされます。(DPX-6100MDのみ)

- すべてのトラックがスキャンされると、トラックスキャンプレイは、自動的に終了します。

ディスクスキャンプレイ (チェンジャーのみ)

マガジン内の各ディスクの先頭部分を10秒ずつプレイしてディスクを探ることができます。

1 ディスクスキャンプレイを開始します



2 聴きたいディスクのところで...



そのディスクからプレイします。

を押してもプレイされます。(DPX-6100MDのみ)

- すべてのディスクがスキャンされると、ディスクスキャンプレイは自動的に終了します。

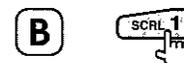
タイトル/テキストスクロール

ディスク/トラックタイトルやCDテキストをスクロール表示します。

1 タイトルまたはテキスト表示にします

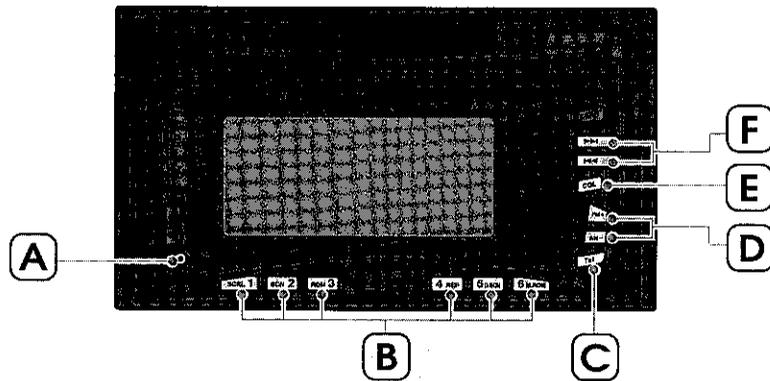


2 スクロール表示します



ディスクタイトル/CDテキスト表示が1回スクロールします。

- ファンクションセットのAT.SCRL項目がOFFに設定されているときでも、この方法でスクロール表示することができます。



別売品のCA-HF100またはCA-HF200を使って携帯電話を接続すれば、DPX-7100MDi/7170MDiでハンズフリー通話ができます。携帯電話の接続のしかたは、8ページの“携帯電話の接続について”をご覧ください。

ハンズフリーで電話をかける

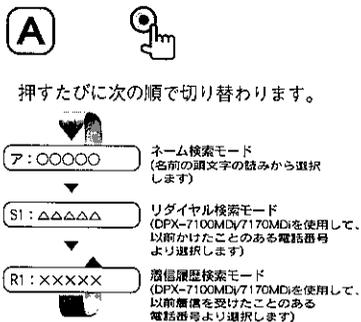
携帯電話を持たずに電話をします。

- 電話番号を携帯電話からDPX-7100MDi/7170MDiに読み込んでいないと使用できません。電話番号はファンクションセットの“TEL Memo”項目で携帯電話からDPX-7100MDi/7170MDiに読み込むことができます。(26ページ)

1 テレホンモードにします

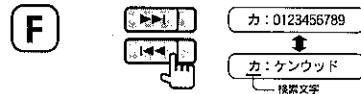


2 電話番号検索モードを選択します



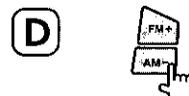
- プリセットダイヤルはすべての電話番号検索モードで呼び出せます。(プリセットダイヤルへの電話番号のメモリのしかたは45ページを参照してください。)

3 ネーム検索モードで電話番号を選びます



押すたびに電話番号/名前が切り替わります。名前と電話番号が交互に表示されます。“検索文字”は、カタカナ検索モード時「アカサタナ…」の順に切り替わり、英大(小)文字検索モード時「A(a), H(h), O(o), V(v)」に切り替わります。表示される“名前”は携帯電話にメモリーされている「読み」に準じます。

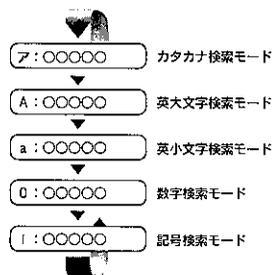
検索文字の換えかた



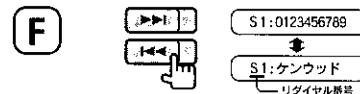
検索文字種の変えかた



押すたびに次の順で切り替わります。

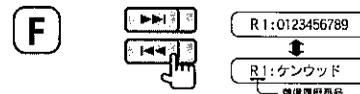


3 リダイヤル検索モードで電話番号を選びます



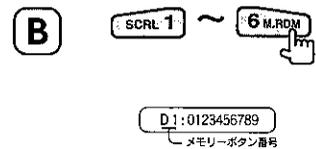
以前にかけた最新の10件から電話番号/名前を選択します。名前とリダイヤル番号/電話番号が交互に表示されます。

3 着信履歴検索モードで電話番号を選びます



以前にかかってきた最新の10件から電話番号を選択します。着信履歴番号と電話番号が表示されます。電話番号がDPX-7100MDi/7170MDiにメモリーされている場合は、名前と電話番号が交互に表示されます。

3 プリセットダイヤルメモリから選ぶときは...



メモリーボタン(1~6のいずれか)から電話番号を選択します。メモリーボタン番号/電話番号が表示されます。

4 電話をかけます

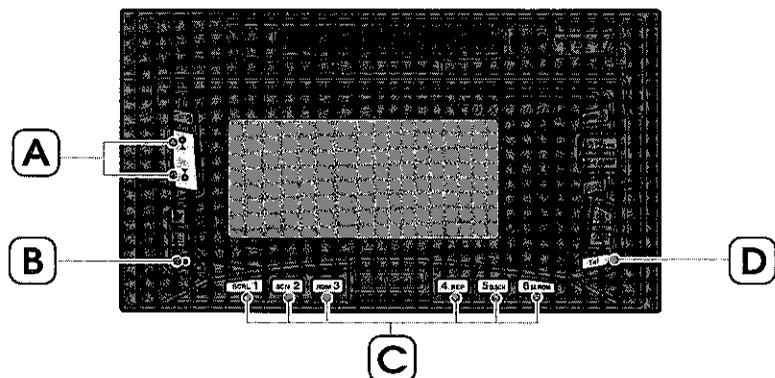


“TELEPHONE”と表示されるまで押し続けます。相手が応答するとハンズフリー通話ができます。通話中は、選択中のソースは一時停止して、相手の声がスピーカーから出力されます。

- 通話中に「ANC」を押ししたりディスクの挿入や取り出しを行うと、通話は中断され、オーディオソースに切り替わります。
- 接続している携帯電話によっては、通信事業者からの案内メッセージなどがスピーカーから聞こえないことがあります。

5 通話を終了します





ハンズフリーで電話を受ける

携帯電話を持たずに電話にでられます。

1 電話がかかってきたら



ハンズフリーで通話ができます。
 ファンクションセットの“TEL Rcv”項目が5s、7s、または10sに設定されている場合は、設定時間で自動的に応答し、ハンズフリー通話ができます。
 通話中は、選択中のソースが一時停止状態になります。

- 電話に回答せずに切りたい場合は **[SNC]** ボタンを押します。
- DPX-7100MDi/7170MDiの操作では応答保留にすることはできません。

2 通話を終了します



プライベート通話

ハンズフリー通話中に携帯電話機での通話に切り換えます。

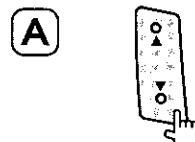


通話中に押すたびに、ハンズフリー通話とプライベート通話とに切り替わります。

- 発信または着信中にプライベート通話にすると正常に発信・着信ができない場合があります。プライベート通話への切り替えはハンズフリー通話中に行ってください。
- 接続している携帯電話によっては、プライベート通話機能が正常に動作しない場合があります。本機能の対応している携帯電話の機種についてはカタログをご覧ください。

受話音量の調節

ハンズフリー通話中に相手の声の大きさを調節します。



次回からのハンズフリー通話は、自動的にこの調節された受話音量となります。

- 受話音量値を“23”以上に設定すると、安全のため次回の受話音量値は自動的に“22”に設定されます。
- 受話音量を大きくするとエコーが発生しやすくなります。エコーが発生したときは、受話音量をできるだけ小さくしてください。エコー音の大きさは、受話音量に比例して大きくなります。

プリセットダイヤルメモリー

メモリーボタン(1~6)に電話番号をメモリーします。

1 テレホンモードにします



2 メモリーしたい電話番号を選びます



- 電話番号の選択のしかたは、“ハンズフリーで電話をかける”(42ページ)を参照してください。

3 メモリーするボタン(1~6のいずれか)を選びます



D1:0123456789
 メモリーボタン番号

“D△:00000”と表示されるまで押し続けます。

電源がオンにならない

- ヒューズが切れている。
- 入出カケーブル、電源コード、パワーコントロールコードなどの接続が間違っている。
- コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。
- 取付説明書を参照して正しく接続し直してください。

音が出ない/音が小さい

- 音量が最小になっている。
- アッテネーターがオンになっている。
- フェダー、バランスが片方に寄っている。
- 音量を適度に上げてください。
- アッテネーターをオフにしてください。
- フェダーやバランスを正しく調整してください。

操作スイッチを押しても動作しない

- 内蔵のマイコンが誤動作している。
- リセットボタンを押してください。(9ページ)

音質が悪い(音がひずむ)

- 音量が大きすぎる。
- スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。
- スピーカーの配線が間違っている。
- 音量を適正に調整してください。
- スピーカーの配線を確認してください。
- スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカーと正しく接続してください。

チューナーの感度が悪い

- 自動車のアンテナが伸びていない。
- アンテナコントロール端子が接続されていない。
- アンテナ入力が確実に接続されていない。
- アンテナを十分に伸ばしてください。
- 取付説明書を見て正しく接続してください。
- アンテナ入力を確実に接続してください。

SRCボタンを押しても、CD-CH/MD-CHに切り替わらない

- それぞれのソースを聴くのに必要な別売品のユニットが接続されていない。
- 別売品ユニットを接続後にリセットボタンが押されていない。
- 接続されていないソースには切り替わりません。取付説明書を参照して正しく接続し直してください。
- リセットボタンを押してください。(9ページ)

オーディオコントロールのN-F項目が表示されない

- ファンクションセットのPreout項目がREARに設定されている。
- ファンクションセットのPreout項目をN-Fに設定します。(22ページ)

イルミカラーユーザー設定でカラーの調節ができない(DPX-710MDi/7170MDiのみの機能)

- 調節したい色以外の2色ともが“0”に設定されている。
- 単色のみでは濃淡の調節ができません。他のいずれか1色以上を混ぜてください。

イルミカラーが勝手に切り替わる(DPX-710MDi/7170MDiのみの機能)

- イルミカラーコントロールがスキャンモードになっている。
- ファンクションセットのV-Color(バリアブルカラー)項目が“Sync”に設定されている。
- イルミカラーコントロールをスキャンモード以外のモードにしてください。
- V-Color(バリアブルカラー)項目を“Fix”に設定してください。(22ページ)

MD/CD/External Disc mode

SRCボタンを押してもディスク(MD/CD)に切り替わらない

- ディスクがセットされていない。
- プレイするディスクをセットしてください。

ディスク(MD/CD)が入らない

- すでにディスクが入っている。
- 入っているディスクを取り出してから入れてください。

MDが引き込まれない

- MDを入れる方向が間違っている、または裏返しになっている。
- 正しい方向に入れてください。

ディスク(MD/CD)のプレイ中に振動で音飛びする

- 取り付け角度が30°を超えている。
- 取り付けが不安定になっている。
- 30°以下になるように取り付け直してください。
- しっかりと取り付けなおしてください。なお、駐車中でも音飛びする場合や同じ場所で音飛びする場合はディスクに原因があります。

CDをプレイできない

- CDが裏返しである。
- CDが異常に汚れている。
- 結露している。
- CDが内部的に検出されていない。
- レーベル面を上にして入れ直してください。
- 「CDの取り扱い」を見て、CDをクリーニングしてください。
- しばらく放置してから使用してください。(11ページ)
- 入っているCDを取り出してから、再度CDを挿入してください。

選曲操作をしても、目的の曲に切り替わらない

- トラックランダムプレイがオンになっている。
- トラックランダムプレイをオフにしてください。(28, 39ページ)

同じ曲を繰り返しプレイするだけで、次の曲に進まない

- トラックリピートプレイがオンになっている。
- トラックリピートプレイをオフにしてください。(28, 39ページ)

MD/CD/External Disc mode

曲の先頭しかプレイされない

トラックスキップがオンになっている。

トラックスキップをオフにしてください。
(29, 40ページ)

チェンジャー内の同じディスクだけがプレイされない

ディスクリピートプレイがオンになっている。

ディスクリピートプレイをオフにしてください。
(39ページ)

曲が順にプレイされない

トラックランダムプレイがオンになっている。

トラックランダムプレイをオフにしてください。
(28, 39ページ)

ディスクが順に演奏されない

マガジンランダムプレイがオンになっている。

マガジンランダムプレイをオフにしてください。
(39ページ)

文字がスクロールされない

- 情報文字数が14文字 (DPX-7100MDi/7170MDi) / 11文字 (DPX-6100MD) 以下のため。
- ディスクネームを表示しているため。

● 表示部に情報文字がすべて表示されている場合はスクロールされません。

● スクロール表示されるのはディスク/トラックタイトルとディスク/トラックテキストです。

MDのタイトルが正しく表示されない

タイトルに漢字が記録されている。

漢字は表示できません。

CD-R、CD-RWがプレイできない

- ファイナライズ処理を行っていない。
- CDチェンジャーでプレイしている。

- CDレコーダーでファイナライズ処理を行ってください。
- CD-R/CD-RW未対応のCDチェンジャーではプレイできません。

リピートプレイ、スキッププレイ、ランダムプレイがオフされない

ディスクを取り出さない限り、各機能は電源をオフにしても自動的にオフされません。

各機能をボタン操作でオフにするか、ディスクをイジェクトしてください。

ディスクを取り出せない

車両のACCスイッチをオフしてから10分以上経過したため。

ACCスイッチをオフしてからディスクを取り出せるのは10分以内です。10分以上経過した場合は、再度ACCをオンにしてからイジェクトボタンを押してください。

DSP/Equalizer Control

DSP効果が得られない

- 2スピーカーシステムになっている。
- フロントスピーカーとリアスピーカー、あるいは右スピーカーと左スピーカーが逆に接続されている。
- スピーカーの極性が逆に接続されている。
- フェダーまたはバランスの調整が片側に片寄っている。

● 取付説明書を参照して正しく接続してください。

● フェダーやバランスを正しく調整してください。

イコライザーを調整しても効果が現れない

1つの周波数だけを調整している。

調整した周波数の周囲の周波数も調整してください。

Name Set

DNPSができない

- 本機またはKMD-C30でMDをプレイしている。
- ディスクスキャン、マガジンランダムがオンになっている。
- 本機およびKMD-C30でプレイ中のMDにはDNPSはできません。
- ディスクスキャン、マガジンランダムをオフにしてください。

SNPS表示にしても“No Name”と表示される

- ステーションネームが登録されていない。 →ステーションネームを登録してください。

タイトル表示に切り替えても“No Title”と表示される

- ディスクタイトルやトラックタイトル、ディスクテキストが記録されていない。 →ディスクタイトルやトラックタイトル、ディスクテキストが記録されたディスクをプレイしてください。

登録したはずのステーションネームが消えた

- 31回目のステーションネームを登録した。
- 本機をバッテリーから外したため。
- 登録できるステーションネームは30局分です。
- 本機をバッテリーから外すとステーションネームは消去されます。

登録したはずのディスクネームが表示されない

- ディスクチェンジャーを外したため。
- ディスクチェンジャーの“O-Nスイッチ”を切り替えたため。
- ディスクチェンジャーを本機から外すと登録したディスクネームは消去されます。
- ディスクチェンジャーの“O-Nスイッチ”を切り替えると登録したディスクネームは表示されません。

ディスクネームがまちがって表示される

- 総録音時間とトラック数が同じディスクがすでに登録されている。 →識別する方法はありません。

“No Disc”と表示される

- プレーヤーやマガジンにディスクが入っていない。 →ディスクを入れてください。

文字の種類が選べない

- 英小文字/カタカナ表示に対応していないディスクチェンジャーを接続している。 →英小文字/カタカナ表示に対応しているディスクチェンジャーを接続してください。

Function Control

BRIGHT調整項目が表示されない (DPX-6100MDのみの機能)

- 車両のライトスイッチがオフになっている。
- イルミネーションコードが接続されていない。
- 車両のライトスイッチをオンにしたのち、再度ファンクションセットモードをオンにしてください。
- 取付説明書を参照して正しく接続してください。

AT.SCRL項目が表示されない

- 使用しているディスクチェンジャーに“O-N”スイッチがない。
- 使用しているディスクチェンジャーの“O-N”スイッチを“O”にしている。
- “O-N”スイッチがあるディスクチェンジャーをご使用ください。
- ディスクチェンジャーの“O-N”スイッチを“N”にしてください。

セキュリティコード項目が表示されない

- すでにセキュリティコードを設定してある。 →セキュリティコードを一度設定すると変更はできません。このため、ファンクションセット項目から削除されます。

セキュリティコードを忘れた

- セキュリティコードを調べることはできません。 →ケンウッドサービスセンターにご相談ください。

Telephone Control (DPX-7100MDi/7170MDiのみの機能)

テレフォンモードにできない (インジケータが点灯しない/点滅する)

- 携帯電話が接続されていない。(インジケータが消灯している。)
- 携帯電話の電源をオフ、DPX-7100MDi/7170MDiの電源をオンにして、別売品のCA-HF100/CA-HF200に携帯電話がロックするまで差し込んでください。
- 「電話メモリーダイヤル読み込み」(26ページ)を参照して、携帯電話のメモリーダイヤルをDPX-7100MDi/7170MDiに読み込んでください。

着信履歴が残らない

- 相手側の電話機が電話番号非通知に設定されている。 →

無効な操作を以下のように表示してお知らせします。

- Error 04** : ●ディスクが異常に汚れている。
●ディスクが裏返しになっている。
●ディスクに傷が多く付いている。
●ディスクが入っていない。
●トレイが入っていない。
→ほかのディスクを使用してください。
- Error 12** : 演奏しようとしたMDがデータ用MDです。
→データ用MDを取り出して、音楽用MDを入れてください。
- EJECT** : ●ディスクマガジンがセットされていない。
●ディスクマガジンが完全に入っていない。
など
- No Disc** : ディスクマガジンにディスクが1枚も入っていない。
- No Name** : ●ステーションネームプリセットされていない放送局を受信中に、放送局名表示にしようとした。
●ディスクネームプリセットされていないディスクを演奏中に、ディスク名表示にしようとした。
- No Title** : タイトルが記録されていないMDを演奏中に、ディスクタイトルやトラックタイトル表示にしようとした。
- No Text** : CDテキストが記録されていないCDを演奏中に、ディスクタイトルやトラックタイトル表示にしようとした。
- No Track** : 演奏しようとしたMDに何も録音されていない。
→ほかのディスクを使用してください。
- Blank Disc** : 演奏しようとしたMDにデータが1つも記録されていない。
→ほかのディスクを使用してください。
-  (点滅) / TEL No Memo
: DPX-7100MDi/7170MDiに電話番号がメモリーされていない。
→「電話メモリーダイヤル読み込み」(26ページ)を参照して、携帯電話のメモリーダイヤルをDPX-7100MDi/7170MDiに読み込んでください。

システムの異常を以下のように表示してお知らせします。

- Error 77** : 何らかの原因で正常に動作していない。
→本機のリセットボタンを押してください。"Error 77"の表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
- H-HOLD** : 本機のMDプレーヤーやディスクチェンジャーの内部温度が 60℃以上になると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。
→本機またはディスクチェンジャーの取り付け場所の温度を下げた後から使用してください。
- Mecha Error** : ●ディスクマガジンに異常がある。
→ディスクマガジンを取り出して、ディスクマガジン内を確認してください。
●何らかの原因で正常に動作していない。
→イジェクトボタンを押してください。イジェクトボタンを押しても表示が消えないときは本機のリセットボタンを押してください。なお、表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
-  (点滅) : MDプレーヤーが正常に動作していない。
→MDを取り出しから、MDを入れなおしてください。
-  (点滅) : CDプレーヤーが正常に動作していない。
→CDを取り出しから、CDを入れなおしてください。

Amp Cont

(アンプコントロール)

EXT.CONT.コードで接続した別売品のアンプの、低音域の増幅量をこの機能でコントロールできます。変更される値や変更時のアンプ側の動作はアンプにより異なります。詳しくは接続しているパワーアンプに付属の取扱説明書をご覧ください。

AT.SCRL

(オートスクロール)

ディスクタイトルやCDテキストが長い場合ディスプレイ部分では表示しきれないときはスクロールして表示されます。

この機能を“ON”に設定しておく、このスクロール表示を繰り返し行い、“OFF”に設定しておく表示が変わったときだけ1回スクロール表示することができます。設定はCDプレイ時とMDプレイ時とで別々に設定できます。

BEEP

(ビーブ)

ボタンを押したときに、押されたことが確認できるように“ビップ”音がする機能です。押してすぐ難したときには“ビップ”と鳴り、1秒以上または2秒以上押し続けて機能をオンにしたときには“ビップ”と鳴ります。うるさく感じたときには“OFF”に設定することにより消すことができます。

BRIGHT (DPX-6100MDのみの機能)

車両のライトスイッチをオンにしたときのDPX-6100MDのディスプレイのスペアナ表示部の明るさを設定しておくことができる機能です。

Contrast (DPX-7100MDi/7170MDiのみの機能)

DPX-7100MDi/7170MDiのディスプレイの文字部の明るさを設定しておくことができる機能です。

DISP MODE (DPX-6100MDのみの機能)

(ディスプレイモード)

イルミネーションのレッドスペアナの有無を切り替える機能です。

“A”に設定するとレッドスペアナが点灯します。

“B”に設定するとレッドスペアナの量が少なくなり、落ち着いた表示になります。

MONO

(モノラル)

この機能でFMステレオ放送をモノラル音声にすることができます。

受信状態の悪いFM放送局を聴いているときに、音声をモノラルにするると雑音が軽減されて聞きやすくなる場合があります。

Opening

(オープニング)

電源をオンにしたときの、デモンストレーション表示の有無を設定できます。

Preout

(プリアウト)

リアプリアウトを、オーディオコントロールのフェーダー調整に影響されない出力(ノンフェーダー出力“N-F”)に切り替えることができます。フェーダー調整に影響されないサブウーファー用の出力に活用できます。

V-Color (DPX-7100MDi/7170MDiのみの機能)

(バリエーションカラー)

ディスプレイのイルミネーションカラーが、DPX-7100MDi/7170MDiの以下のような状態のときにデモンストレーションする機能です。デモンストレーションさせたいときには“Sync”に設定し、デモンストレーションさせたくないときには“Fix”に設定します。

ボリューム調節時

ボリュームの変化に合わせてイルミカラーが様々なに切り替わります。

アッテネーターオン時

Red(レッド)とBlue(ブルー)が交互に切り替わります。

電話がかかってきたとき

Blue(ブルー)とLime white(ライムホワイト)が交互に切り替わります。

セキュリティコード

セキュリティコードを設定しておく、本機の電源コードを外したときやリセットボタンを押したときなどの次に初めて使うときは、設定したセキュリティコードを入力しないと電源がオンできないようになります。すなわち、本機を車両から外したときは、セキュリティコードの入力が必要になるため、盗難防止の手助けとなります。

チューニングモード

放送局の探し方を設定することができます。

“Auto”に設定しているときに◀▶ボタンを押すと放送局を自動的に見付け出し、“Manual”に設定しておく1ステップずつ周波数を変えることができます。

ディスクチェンジャー

外部接続された別売品の、CDチェンジャー(KDC-C410, KDC-C406など)、MDチェンジャー(KMD-C80, KMD-C30)です。

保証とアフターサービス

保証について

● 保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

● 保証期間

お買い上げの日より**1年**です。

修理を依頼されるときは

「Help ?Operation」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にお問い合わせください。(別紙“ケンウッド全国サービス網”をご参照ください。)

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

● 保証期間中は…

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後は…

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。
(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

● 持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。
(本機および一緒に持ち込まれるユニット内のディスクやテープはあらかじめ取り出してください。)
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

● 修理料金のしくみ(有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。)

- 技術料：故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代：修理に使用した部品代です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

仕様一覧



FMチューナー部

受信周波数範囲(周波数ステップ)	76.0 MHz~90.0 MHz (100 kHz)
実用感度(S/N:30 dB)	9.3 dBf (0.8 μV/75 Ω)
S/N 50 dB感度	15.2 dBf (1.6 μV/75 Ω)
周波数特性(±3.0 dB)	30 Hz~15 kHz
S/N比	75 dB (MONO)
選択度(±400 kHz)	≥80 dB以上
ステレオセパレーション	40 dB (1 kHz)



AMチューナー部

受信周波数範囲(周波数ステップ)	522 kHz~1 629 kHz (9 kHz)
感度	28 dBμ (25 μV)



MDプレーヤー部

レーザー	GaAlAs(ダブルヘテロダイオード, λ=780 nm)
デジタルフィルター	8倍オーバーサンプリング
D/Aコンバーター	1Bit
回転数	400~900 rpm (線速度一定)
ワウ & フラッター	測定限界以下
周波数特性	20 Hz~20 kHz (±1 dB)
高調波歪率	0.005 % (1 kHz)
S/N比	90 dB (1 kHz)
ダイナミックレンジ	90 dB
ステレオセパレーション	85 dB



CDプレーヤー部

レーザー	GaAlAs(ダブルヘテロダイオード, λ=780 nm)
デジタルフィルター	8倍オーバーサンプリング
D/Aコンバーター	1 Bit
回転数	200~500 rpm (線速度一定)
ワウ & フラッター	測定限界以下
周波数特性	10 Hz~20 kHz (±1 dB)
高調波歪率	0.01 % (1 kHz)
S/N比	93 dB (1 kHz)
ダイナミックレンジ	93 dB
ステレオセパレーション	85 dB



オーディオ部

最大出力	47 W × 4
定格出力	29 W × 4 (4 Ω, 1kHz, 10%THD)
プリアウトレベル	1500 mV/10 kΩ
プリアウトインピーダンス	600 Ω以下



DSP/イコライザー部

A/Dコンバーター & D/Aコンバーター	3次ΔΣ方式18bit/128倍オーバーサンプリング
イコライザー中心周波数	60/160/400/1k/2k/6k/16k Hz
可変範囲	±12 dB



電源部

電源電圧	14.4 V (11~16 V)
最大消費電流	10.0 A



寸法・質量

埋込寸法 (W×H×D)	178 × 100 × 155 mm
質量 (重さ)	2.9kg



付属部品

電源ハーネス	1本
トラスネジ (M5×6mm)	6本
バインドネジ (M4×6mm)	1本

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。